



令和6年 3月26日 発行
東京都立しいの木特別支援学校
校長 濱渦 孝治
担当 江口 太郎
電話 0436-66-2790

第11号
(学校便り)

進級、進学、卒業おめでとうございます

副校長 田中 大輔

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4月から小学部6年生は中学生、中学部3年生は高校生、そして高等部3年生は社会人としての生活がスタートします。

本校を含め特別支援学校は、複数の学部を併設していることが多いので、進学するという実感を持ちづらいかもしれません。当然のことながら小学生、中学生、高校生では、生活年齢や物事への経験の幅が異なります。また、高等部卒業後に目指す「自立と社会参加」に向けて、「手をかける指導」から「言葉をかける指導」、「目をかける指導」へと段階的に接し方を変えていきます。進学ということは今までの学部の延長ではなく、新たな環境での出発（大げさかもしれませんが）であると言えます。しかしながら、進学と同時にできることや楽しめることがすぐに増えるわけではありません。あくまで一人一人のペースや課題に合わせて日々の指導、対応を行いますので、ご安心ください。

高等部の卒業生は、小中高の12年間の学校生活を終え、社会人としての生活が始まります。慣れ親しんだ寮、寝食を共にした仲間ともお別れとなり、まさに新たな人生のステージを迎えることとなります。不安や心配があるかと思います。でも、その先には新しい出会い、楽しいこと、嬉しいことが待っています。卒業生の皆さんのさらなる飛躍を楽しみにしています。

私の選んだ令和5年度しいの木ニュース

●濱渦孝治校長着任

→新年度、新学習指導要領に基づいた授業を推進中です。ちなみに約15年前に校長と田中は、都立墨東特別支援学校で、ともに教諭として一緒に勤務していました。

●全校集合形式でのしいの木集会再開

→コロナの影響で、昨年度と一昨年度の2年間は動画配信でした。今年度は歌やゲームを取り入れ、盛り上がりました。

●Shall we コンサートに参加

→9月、小中高合同で貸し切りバスに乗って東京国際フォーラムへ。素敵なホール、繊細な木管アンサンブルに感動でした。

●野菜配布会を実施

→11月、椎の木台自治会の皆さんに本校でさつま芋をお配りしました。50名以上の方が来校してくださいました。

●東京都人権尊重教育推進校実践報告会を実施

→1月、令和4、5年度の研究、実践の成果を発表しました。教員一人一人の指導力の向上にもつながりました。

防災教室を行いました

3月1日（金）午後、全校で「防災教室」を行いました。講師は、地域防災の専門家である白尾克伸さんをお願いしました。本校の防災教育推進委員会の委員長を担っていただいている、地域の関係機関との間に防災対策の連携を深めていく上で大いにお力をいただいています。

能登半島で起きた地震の被害を説明されながら、近い将来に必ず起きると予想されている南海トラフ大地震などによって、どのような被害が起きるのかということについて、わかりやすく説明していただきました。大きな地震や災害が起きた時、自分たちはどのように避難し、どのような準備が必要か、避難所ではどのようなことに気を付ければよいのか等についても、クイズ形式でわかりやすく説明していただきました。

子供たちの防災教室を何年にもわたり引き受けてくださっているのも、白尾さんのことを覚えている生徒もいて、終了後に自分から質問に行く姿も見られました。大変に内容の濃いお話で、難しい部分もありましたが、高等部の生徒たちは、用意した資料を熱心に見ながら、白尾さんのお話を傾聴していました。小学部、中学部の子供たちも、静かに座って参加し、雰囲気を感じている様子でした。全校の子供たちが、防災への意識をさらに高められる時間になったと感じました。（文責：伊丹 聡）

4月の予定

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	春季休業日終
6	土	
7	日	
8	月	始業式 (11:40 下校)
9	火	入学式 (11:40 下校)
10	水	給食始 尿検査(1次・福祉園生)
11	木	短縮授業日(13:50 下校) 身体計測(高等部)
12	金	身体計測(小学部)
13	土	
14	日	
15	月	視力検査(高等部第1学年)
16	火	避難訓練(地震) 身体計測(中学部)
17	水	尿検査(2次・福祉園生) 視力検査(小・中学部) 眼科検診
18	木	聴力検査(福祉園生) 内科検診
19	金	聴力検査(のびろ学園生)
20	土	
21	日	
22	月	耳鼻科検診
23	火	しいの木集会
24	水	
25	木	歯科検診
26	金	授業参観日 短縮授業(14:40 下校)
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	保護者通信発送日

小学部

小学部4名は、この1年間元気いっぱいどの活動・授業も取り組みました。授業だけではなく、修学旅行・校外学習、榎の実特別支援学校との交流会の他、Shall we コンサート等の全校行事を経験する中で、大きく成長を感じた1年間でした。行先や場所に見通しがもちにくい行事でも、担任や学部の教員に寄り添い、自分の気持ちを伝えることで、不安を軽減させ、安心して参加できるようになりました。

卒業生は、中学部でも自信をもって力を発揮し、更なる成長が見られることを期待しています。在校生も進級して、新しい教員との関係を築き、笑顔溢れる学校生活を送ってほしいと思います。

保護者や関係施設の皆様、この1年間ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。(文責：山田 麻衣)



中学部

中学部では、一人一人に応じたコミュニケーション手段で気持ちや要求を伝える練習を積み重ねてきました。「お願いします。」「できました。」と言葉で伝えたり、手を合わせて伝えたり、頭を下げたり、グータッチ・ハイタッチで伝えたりとそれぞれの手段で伝えることができるようになりました。生徒達は、伝えることで自分の気持ちを共感してもらえたり、要求が叶ったりすることを日々の生活の中で学び、主体的に何かを伝えようとする場面が増えました。伝えることを通して教員や友達との適切な関わり方も身に付けることができました。今後は、友達との関わり幅がより広がるよう継続して指導をして参ります。

保護者の皆様、関係施設の皆様、1年間ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。(文責：江口 太郎)

高等部

今年度の高等部は4年ぶりに宿泊を伴う修学旅行を行いました。各教科の年間授業計画を立てる際に、震災学習を大きな柱として修学旅行に関わる内容を組み込み、事前学習へとつなげていきました。また、9月には東京都総務局主催のマイ・タイムラインセミナーを行いました。VRゴーグルを使用した防災教育は生徒の意欲喚起に有効でした。そして、11月の修学旅行での体験は2月に実施した、しいの木祭高等部発表へと結びついています。年間を通して様々な取り組みが関連付いており、区切りごとに生徒達は成長した姿を見せてくれました。同時進行で、進路の取り組みもあり、特に3年生は忙しい1年間だったと思います。関係機関との連携や保護者の皆様のご協力により、3年生の4名はそれぞれの進路先へ巣立つことができました。卒業生が本校での学習の成果を、各自の進路先で発揮し、社会人としての新生活を楽しんでくれることを願っております。次年度、後を引き継ぐ在校生が卒業生との思い出を胸に頑張れるよう、しっかりと支援してまいります。(文責：古山 武)

